

BAO/BABB. Session01

「集まって住む」

正式名称 BAO / BABBLING SESSION. B型もA型も型もAB型も誰でも参加OK. 喋って考えて色々物知りになろうという意味でBABBLING. 会をやりながら方向性を模索していくことでSESSION. 略してバオバブです. 金の言い出しっぺ五十嵐. 名称の抽出佐藤. 愚乗りまとめ水上によるコラボです.

「エーゲ海では、こんなふう集まって暮らしている」

1st.

「エーゲ海」と聞けば、日本人の多くの方がリゾート地としてのイメージを抱くことでしょう。しかし、かの島々は古くからエーゲ海の交易基地として栄えてきました。島に住む人々は、観光客の華やかさとは関係ないがごとく連綿と「自分たちの住まい方」を続けています。

あの白い家並みも必要があつてのことです。客寄せのための「営業」ではありません。では、どのような暮らし方があるのでしょうか。それは、日本人の多くの方々には不思議なものかもしれません。

エーゲ海の島に住む人々の暮らしから見える「集まって住む」住まい方は、もしかすると私たち日本人でも参考となるものがあるかもしれません。

Date: 6/17(金) 19:00~21:00
Place: 柏アミュゼ 5階 会議室D
Lecturer: 佐藤和裕
株三光建設 計画部
HP: 「まちなか生活向上委員会」
<http://sunnyside-farm.seesaa.net/>

「住宅パズル 2世帯で敷地50坪に住む」

2nd.

パズル感覚で住宅を考えてみましょう。敷地は50坪、現在は親の家が建っています。あなたは独立開業、結婚、Uターン、失恋、何らかの理由で親元に帰ってきて一緒に暮らすこととなります。既に奥さん、旦那さん、お子さんがいるかもしれません。慣れ親しんだ家とはいえ、毎日親と顔を突き合わせるのとはかなりツライ。完全分離の2世帯住宅に建て直すには土地が狭いし、費用もかかりすぎる。友人達はマンションに退避していきますが、ずっと住む場所とは思えない。さてどうしましょう？

冒頭の15~30分くらいは、私がこれまでに考えた例を紹介して、こんなことを考えて間取りを決めたといった話をしようと思います。その後は、参加する人たちに思いでの家(「今住んでいるところ」「生まれ育った家」「祖父母の家」何でもOK)の間取りを簡単に書いてきてもらって、それらを敷地50坪に放り込んであれやこれやとディスカッションしてみようと思います。話のタネなので、家の広さはどんなものでもOKです。

間取りは方眼紙(1cm角か5mm角が使いやすいです)に、1mを1cm(アバウトで良いです)として書いてきてもらえると、他の人のものとも比較できて議論を深めやすいです。当日も紙と書くものを持参下さい。準備が少々手間ですが、ちょっと頭の体操をしてみましょう。

Date: 7/15(金) 19:00~21:00
Place: 柏アミュゼ 5階 会議室D
Lecturer: 水上知英
水上デザインオフィス代表
HP: 「柏をたのしむ」
<http://www.mizdesign.com/mt/>

「裕子さん、小島、五十嵐の「集まって住む」」

3rd.

現在は生活ホームをとって、それぞれが居住者、世話人、設置者になっています。今回はそれ以前の他人同士の三人暮らしについて話します。

Date: 8月予定
Place: 未定
Lecturer: 五十嵐正人
障害者生活支援サービス
「ばおばぶ」代表
HP: 「裕子ねーんね」
<http://membersjcom.home.ne.jp/~yuuko-nenne/>

Join Us !

問い合わせ・参加申し込み:
tel: 04-7169-7710
(ばおばぶ 担当 五十嵐)
e-mail: baobab-i@jcom.home.ne.jp

参加費: 会場費などかかった経費を参加者の人数で割り、参加費として徴収します。会場の都合で定員24名です。参加希望者は必ず申し込んでください。3回通しての参加が望ましいのですが、1回、2回の参加も可能です。各回とも終了後に会場を移しての2次会を予定しています。